



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、この話を聞いて、戦争は、
起こしてはいけないと思いまし
た。お言告の中で、目の前の親子
が一しゅんにして消えた。と言告してい
て、私のひいおじいちゃんを思い
出しました。私のひいおじいちゃんは、
若い時に戦争に行きました。母から
は、そのころ「人を殺さなければ“自分が”
死ぬ」と言っていたと知った時は、あま
り考えなかつたです。でも、ひいおじいちゃん
は、戦争のことを何も話しませんでした。
何も話さないまま他界しました。私は、
戦争について、何も考えなかつたけど、
私は、改めて、戦争や原爆など“2度と
起こしてはいけない”と思いました。
社会で、もっとくわしく知りたいと思いい
ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

話し方がとてもリアルで本当に広島にいる様に
感じました。原爆をマイクで表現した時
目をふさいでいても聞こえたので、当時爆だ
んが落ちた時ものすごいうるさか。たんだな
と思います。そして最後のお話で、原爆をさ
げ人している所で「キレすぎる」と言ったという事
は、当時は、もと重傷だ。たんだなと思いました。

あと、人がいっしょんで消えてしまう所ですごく
怖かったです。もし自分がその人たちの立場だったら、
原爆の当たらない場所に行くという考えではなく、
自ら当たりに行くと思います。死ぬのは怖いけど、苦痛
にずっとたえるよりは死んだ方がましだからです。

爆だんもすごく大きくてとても人が作、たとは思えない
大きさで、でも本物を見てみたいです。

どのように持ち上げたのか？などいろいろなきも人
かできてきました。

でも私は今、とてもめぐまれたかんきょうにいるんだなという
ことをじかんできました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/15

原爆のお話を聞いて、思ったことが2つあります。1つ目は、恐怖です。想像した時背筋がこえるほど怖くなりました。そんな中で任務を遂行した、池田さんの父、義三さんはすごいと思いました。2つ目は、平和です。今後、このような惨いことは起きないでほしいと思います。今が平和か、といったら、そうではないところもあるので、「そうです」とも「違います」とも言えません。しかし、みんなが平和な社会を望むのであれば平和な社会になると思います。検証のため、たけくさんの人の命がうばわれてしまったことはとても悲しいことだと思っています。自分達のために他人の命をうばうことは二度とあまさないでほしいです。疑問に思ったこともあります。原子爆弾投下都市条件についてです。③に空襲がなかったとありますが、広島は空襲を受けました。なぜ広島を選んだのか、分かりません。もう一つ、なぜ日本を選んだのか、どうことです。別に日本でなくても検証はできると思いました。原子爆弾を作ったことが間違っていたと思います。今日は、授業をしなくてありがたかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの授業を受講して原爆のせいまでわかって
についてよく知りました。原爆をおく都市のことについ
て。ぼくはこの候補の中に京都が始め入っていたこと
がおどろきました。原爆投下の条件なども知りました。
直径5kmを超える都市である。平野である。空襲がなかる。のろつ
がなくて広島に投下されたのだなと思いました。さらに原子爆
弾自体のことについても知ることができました。太陽より
高い温度でしかも地面から約600mの場所でおこったこ
とだと聞いた時はゾッとしました。まさかそんなに高温だと
は思ってもいなかったからです。真下にいた人たちは何も知
ることもなく灰になって骨折なく死んでしまうなんて
かあいそうだなと思いました。よしろうさんは17才で軍に入
って恐ろしい色々な物を見えたと思うと戦争は改めて二度と
おきてほしくないです。元菊川に埋め尽くされた死体、防火用水
の中にもいた、同じ形をした死体。よしろうさんはそれから30年後
に海軍兵隊交跡に入って人形を見た時ゾッとしましたが
よしろうさんがきれいすぎる。と入ったことを知った時は
戦争は自分の想像をはるかに上まわっているのだなと
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私が一番心に残ったのは、人が手をさわったりすると、ちがたれさかるとゆう所です。ちがたれさかり肉、骨が見えてしまいました。た人がいたいからです。そんなにくるしんでる人がたくさんいると知って私はかわいそうだと思います。戦争のせいでこんなことになってしまふ多ぜいの人たちのくらしみを戦争を楽しくやてる人たちに味あわせたいです。やりたくもないのに戦争になってしまつてる人たちが一生けん命生きてきている人がかわいそうだし戦争を楽しくやっているなら自分たちの仲間とやれば、一生けん命生きている人たちに害がないからいいと思う。だからこの日本や全国でも戦争はやてはいけないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾が、広島に投下されたのはニュースでよく聞くから知っていたけど、3000℃になって死体で爆心地周辺が埋まっているような状態になっていたのは悲惨なことだと思います。又、もう撃波が音速より100m/秒も速いとして恐しいなと思いました。さらに、原爆雲が成層圏ギリギリまで上って熱線がすごかった人だなと思いました。又、死体処置に取りかかった兵隊の人たちは夢我夢中で処置して恐怖を感じていたのだらうなと思いました。又、あんなに、爆弾本体が小さいのに、あれほどの威力で、二度と同じことが起きてはならないなと思いました。又、戦争でせくなかった人の為にも原爆のことを後世に伝え二度と戦争はやってはいけないと伝えたいです。先日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

僕はこの原爆先生の話を知り、原爆は二度と使ってはならない、戦争は二度としてはならないという思いがとて強く伝わってきました。ふだんの社会や国語で学んだ原爆の様子は全く違い、実際にその様子をまのあたりにした人の話だったので教科書とはまた違った残さくない様子が伝わりました。僕は同時に、原爆のロカや恐ろしい被害にあつた人たちにあつた人たちの苦しさも伝わってきて、こもりのようになりました。また、被害にあつて亡くなってしまった人の遺族や、原爆の後遺症などで苦しむ人たち、僕はそんな人たちの心さいやしたあげたいと思ひます。そして僕は死んでしまった人たちの事が一番行きかかわりたと思ひます。また、たった一つの原爆の中心一しんの所に何十万人といふ命が消され、全身焼きつくされ、もがき、亡くなってしまふ人たち、僕はその様子と思ひ浮かべるだけでも心が痛みます。

僕は、今回の学習で原爆ドームに対する思ひが変化しました。今まで原爆の事はよく何一つ知らないし、興味もなかつたけど、今回の事を学ぶと、もうあんなうな事は二度とあつてはならないと思ひました。

貴重な体験ができて、これから社会で生きていく、このことと深くしてこれから学習して、いきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

たった一瞬で、本当にたくさんの人の命が尽きてしまう。原爆とくと、どうしてもむかし
の出来事で、自分にとってはあまり元気がない、というイメージがありました。しかし今
回の授業で、ただむかしの出来事ではなく、今もなお人々の心に残り、け
して消えることのないものなのだと、心の底から思いました。そして、
原爆が人々にあたえた害は、こういう産やうかなど体にたけじゃ
ないと思いました。もちろん、たくさんの人が被害をうけ、おせくなり
になつたのは大きな害ですが、もう一つ、心に対して、大きな、深
いキズをおかせたのだと思います。万一、安全に終戦を見届けられても、
おせいになつてしまつた方に対する、救えなかつたという罪悪感の悲し
みは一生ついてくるものだと思います。もし私がその時代の人で、実際に
経験してつたのなら、間違ひなくその気持ちなつてつました。原爆先生
のお父様も、つて被爆つた方々を助けたかたのつでしょう。最後のど
ろオを見て、私はつても心が痛みました。怖か、ただろつ、つらか、ただろ
つ、そんな気持ちがつこみ上げてつきました。

戦争はたくさんの被害をつきたらし、命をうばつものつです。だからこそ、
おろしくつて忘れたつという思ひもつありますが、人々のために、つして
自身のために忘れたつておきたくつたつです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆によって体中に大火傷を負った人々は「兵たい
さん... 助けて...」と言いました。そして助けて
あげようと、その人の手を持ってひき上げよ
うとすると、皮ふが「ズルッとはがれ、逆に痛い
思いをさせてしまいます。このことを知って私
は、この時代はお互いに助けを求めたり、
助けようと思っても、助けきれないような時
代だ、たのたなと思いました。そして、お
互いにつらい思いをしていて、それでもど
うしようもない真、暗闇の中にいるような
思いを心にかかえていたと思います。なので、
女性を助けることができたのは、とても
うれしか、たのたではないかと思いました。
私は今まで「戦争はいけないとは分か
ていましたか」。具体的にどんなことがあ
ったのか知りませんでした。しかし今回の授
業で、原爆は生きながらも、お互いに苦しま
なくてはならないことが分かりました。な
のでこれから二度と戦争にならないでほしいと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はこの授業を受けて考えたことがいくつかあります。
一つ目はこの原子爆弾が落とされた当時はよく空襲があつた
わけて防空壕があつたはずなのになぜたれ一人としてにげな
かたのかきもんに思いました。二つ目は原爆がおちたしゃんかん
に亡くなつた方は2万人でありその後の熱線でも多少のきせいが
出たにせよもう少し多くの方が助かたのではないかとということです。
三つ目は一度広島に原子爆弾が落ちて多数の方
が亡くなつていたのににもかかわらず「次」にそなえず
広島、長崎の両市合わせて30万人ものきせいを出し
てしまつたということ。日本軍が少しでも警戒を強め
たり何らかの対策を取つてくれればそれ一つで何万とい
う人の命をすくえたのかもしれないと思つてました。
4つ目は17才の青年を兵士にしなればなかなかにほど
追いつめられていたのになぜ戦争を続けたかです。もし軍
の指導者や政府の官が戦争をやめようと決断して何十万
という人の命がすくわれていたかもしれないと思つてました。
このように戦争はあるべきではないと思つてました。しかしまた
世界ではまだ平和ではない地域があります。そんな地域を
なくしていくことがこれからの時代を背おつていく私たちの役目なのです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/5

私は原爆先生の授業を受けるまで、原爆によって多くの方々が亡くなったという事しか知らず、原爆に関心を持っていませんでした。けれど、今回の原爆先生の授業を受けて広島に「リトルボーイ」という7000℃の少年が投下されたときの様子が、原爆先生の話をするときの音や分かりやすい表現により、まるで見た事のあるように目の前に広がってきました。今回の授業により私は原爆の恐ろしさを知ることができました。この授業からどの国も敵に回さずに友好関係を保ちながらも、どの世界からも刻兵器をなくすことが世界平和につながるのではないかと私は思いました。世界平和のためにも私やその周りの人が毎日楽しく暮らせるようにしたいです。本日は授業をしていただきありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はお話を聞いて、原爆の怖ろしいところを感じました。原子が来た人は知っていたけれど、またたくまに熱風があふてきたり、建物が灰の粉にくたけらる姿をビデオで見たとき、心はぐちゃぐちゃの感じがしました。そして、原爆の被害を受けた方は、水分が無くなり、皮がただねあふていて、とてもひどい火傷をおもっていたりして、とてもかわいそうだと思います。でも、必ずに助けを求め、生きようとしている姿に感動がきました。しかし、広島での原爆投下時は、何十万人もが原爆により亡くなってしまうことを思うと非常に悲しいです。そして原子力発電は失敗により、数々の事故が起こって家に帰れない人の姿を想像したときには自分ももしそうだったらどうしようかと思ってしまうことがあります。今後原爆を忘れないために、原爆1-4の歴史を学んで、皆さんを世界中に知ってもらえるように頑張ります。ぜひぜひ、特別授業を聞いてください。よろしくお願いします。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、以前 井上ひさしさんの「少年口伝隊」という本を読んだことがあり、広島にどんな原爆が落ちて、その悲惨さがどのようなものだったか、少し知っていました。でも、しばらく時間が経っていたので、大半は忘れていました。今回再びお話をうかがい、忘れていたことがおみえしてきました。実際に体験していない私達は、一度聞いて知っただけでは、次第に忘れていくのだと気づき、それはとてもおそろしいことだと思いました。太陽より熱いものがある日突然落ちてくる…。そんなこと想像もできません。皮フが剥けてたらんとたれ下がった人、見たことがありません。戦争を見ていない私達は、経験した人から聞くか、映像、本を通してしか知ることが出来ないのです。今回のように詳しく知っている人から直接聞けたことは、とても大切なことだだと思います。聞いて学んだことを、また次の世代の子どもたちに伝える責任を、私達はこなしているのだと感じました。そのためは一度や二度に限らず、何度も学ぶことが大事だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島原爆についておしえてくださり、ありがとうございます。

私はあまり原爆のことはしらなかったのですが、太陽よりもあつい原爆が時速300kmもの勢いで落ちてくるなんておそろしいと思いました。

この原爆でせくなった方々は手をさしのべても皮ふがはがれてたおれしてしまう話を聞き、想像しただけでも「ゾワッ」としますが池田さんは実際にその場面を見て、本当に辛い思いをしたのだと感じました。

原爆のようなおそろしい戦争があった中、今平和にくらしていることにありがたみを持って生活していきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、私たちに特別授業をしてくださり、ありがとうございました。ちょうど、社会の授業でやり始めていて、教科書にのっていないようなもっとくわしいことを教えてくださり、誠に、ありがとうございました。先生のお話の中で、助かった人は、建物の地下のトイレに入っていて助かったと言っていたことから、私は北朝鮮の、ミサイルなど、今、色々と世間をさわがしているものなども、原爆で助かった人のように地下に行ったら、少しでも被害をなくせるのではないかと考えました。また、このことは、ニュースでも放送されていて、地下にひなんするため専用の部屋などを設けているそうです。先生、私はこの授業を受けて、よしやうさんにとって原爆はどういうものなのかという思いをよく知ることができ、とれほど悲惨なものなのかを改めて感じられました。誠にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講する前はただ「原爆はおそろしい」としか思っていなかった、興味を持っていなかったのでも、最初の方は「どうなるんだろ」としか思わなかった。でも、原爆先生の話を聞いていくと、だんだん興味がわいてきて、いつも以上に真険に聞けた。最後の方のよしろうさんが60年ぶりに広島に行って、原爆ドームの中の人形を見て「キレイだな」と言うと、ほくの頭の中では「も、と、いたいたしいのかな。」と思った。茶冬あつた後には、「原爆は伝わりきれないほどおそろしいんだな」とすげー理解した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが一番おどろいたのは、広島の人口に支れ、原爆を吐くた。た方が40%もいるということです。この吐くた方は原爆投下の数分前までぶっりにすごしていた罪のない人がほとんどです。ぼくは、この事から、単戦争というのは、関係のない人までも巻きこむ、平和を原真う今の世の中に決、してくり返してはいけないんだと己改めて認識しました。原爆はその単戦争を象ちょうするような物だと思いました。

また、ぼくがもう一つおどろいたのは、原爆の表面温度が7000℃もあるということです。それは、人が人に使、ていい物ではなく、実際にその効果は絶大だったと今日学びました。その事を思いうかべるととてもぞろとします。

最後に、今日学んだことは、決、風化させてはいけないと思いました。これからぼくたちが次の世代につなげなければ、いけないんだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことについてくわしく教えてくださり、
ありがとうございます。ぼくは原爆
の中身が気になりました。調べてみた
ら、ぼくは原爆はおそろしいと改め
て感じました。そして先生が語って
くれた5000人の少年という物語について
ぼくは最初、意味が分かりませんでした。
だけど先生のお話を聞いていくうちに
だんだん題名の意味が分かりました。
ぼくは、この学習を心に刻み絶対に忘
れません。授業をしてくれて本当にあり
かとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/15

今日の原爆先生のお話を聞いて
僕はこう思いました。

1つ目は、なぜ皮膚がボロボロなのに
手を差し出したのか、というのと、原爆先生のお父は
すごく勇敢²⁷⁸⁷であるのだなと思ったことです。

これからはこのような原爆が二度と
おきないようにしていきたいと思いました。
僕はこのお話を原爆先生から聞いて、
その爆弾が落ちた時のことを思い浮か
べたり感動^{キョウゴウ}してしまいました。

今日はたくさん原爆のことを話してく
れてありがとうございました。

機会があったらまた来て、お話を
たくさんしてください。

今日は、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことはあまり知らなかったが、今日のお話を聞いて、このことはだれもが知ってなければならぬ、悲さんな出来事だなと思った。原爆はくまを苦しめ、人生をうばうような悪いものなのだと改めて思った。戦争は良くないものなので、広島にある原爆ドームにも行ってみたい。原爆が3、12m、4世もあるものだとは知らずにいました。上空600mから下も、3000℃の熱が地上まで漏くほどの力を持つような殺人兵器はもう作らず、平和になってほしいなと思った。今の平和を保つために自分たちが行動をしなれば、日本は今後どうなっていくのか分からないので、がんばっていきたくて、原爆をなせ、投下しようとしたのが、また、京都をたぬんするくらいなら、原爆を投下しなくても良かったのではないのかと思った。この出来事を外人にも知ってもらいたくないので、広島にせむ行って、アメリカはなんということをしたのか考えてほしいです。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回話を聞いて単戈争は私たちが思っている以上におそろいことが分かりました。理由は原爆が落とされるときに池田さんか表現しながら言ったときとてもびっくりしたからです。また、原爆はヤセもあり表面温度は7000℃あったと知ったときはとてもおそろいことが分かりました。

池田義三さんたちと同じか経験したことは声やヒテオだけでは伝わらないほどつらかったと思います。

今はこうして平和に暮らしているのも昔こんなふうなことがあって他国と仲直りたとして暮らしていけるのだと思います。また、戦争などをやらないと決まらなければいけません。もしこういうことがあったらおそろいことがつらく、苦しいのが今回話を聞いて分かりました。

この先、どうなるかは分かりませんが、教わったことを忘れずに暮らしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私がこの授業の中で、一番印象に残っているのは、灰になっていなくなってしまった人のあとです。あの写真を見たとき、おもわず目を見開き、おどろいてしまいました。人の形がなく、あのあとがもともと人だったとは思えませんでした。また、何も知らず、いきなり爆げきにあい、自分があとかたもなくいなくなってしまったということを見ると、とても悲しくなりました。そして、もう一つ、印象に残った話があります。それは、アメリカの機体が受けたしょうげきです。原子爆弾が落とされた所から、空中で爆発した所まで約4kmありました。機体も原子爆弾を落としてから、すぐに急せん回したので、ちゃんときよりはあったと思います。それでも、すごいしょうげきがあったということは、原子爆弾の力は、とてもすごかったんだと思います。

この空しゅうは、人の姿も消してしまうほど、ものすごくおそろしいもので、たくさんの人に被害を加えました。ここで生き残った人も、その後は辛い思いをずっとかかえているんだと、苦しくなりました。このような空しゅうはもう二度とあってはならないと、改めて強く思いました。この

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
度は、授業をしてくださり、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

広島原爆のことについておしえてく

たさう、ありがとうございます。

私は広島原爆のことをくわしく知

らなかつたので、知つて原爆をあらため

て、恐いと思ひました。

広島原爆の事について、人々かくるし

い思ひをしていたり、つらい思ひをして

た、いへんた、たんたなと思ひました。

原爆のことについて話をしてる時に

自分の頭の中、想像したら、つが、

たことがよく分かりました。

それを実体験した池田さんは、その

時のことをし、かりと覚えてるから、

この原爆は、やはり恐いと思ひ

ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ほくは太陽のような熱い原爆が落ちていたら絶対に死んでしまうと思いました。なのにたまたまトイレにいた人は死なずにいられたと聞いてどのようなかたさのところにかかきになりました。また、候補になっていた都市で京都はいかか、確実に分かると思っていたのに、文化財などがあり、そのようなものはばかいてきないという思いもあり、やめたことがありました。文化財を大切にすることはいいと思うけれど、たかるとして長崎や広島に落とすのはべつにいいという意味になります。人が原爆を受けて一しゅんで消えるのは現実ではないと思、ていたけれど、本当にそう見えることがかわいと思いました。そのまま黒いかけのしみだけが残るのは人間と爆たん、で化学反応のうのように消えて灰がそのまま残っていることなのかなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話を聞いて被災者の方々、軍隊の方々が本当につらい気持ちであった事、そして私たちが今生きている日常で想像のつかない事が昔あったことが分かりました。お話の中に見た映像で爆弾が投げられた時、いっしょんで街が焼けてしまったり被災者の方の遺体がもう黒くこげてしまったり本当に爆弾の威力がすごかった事におどろきました。この授業をきっかけに今まででは考えなかつた「原爆」について考えられたと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

私は「私」が救いたいけど救えない泣きさけ
ぶ人々を見て救えないことに対して悔しくて涙を零し
たり、死体をおんがして連れていく時、吐いてしま
たり顔をそむけたりしたりしているのでアニメなどの
「この位は慣れておけ」というセリフはアニメだけで
現実には仕事だから普通にできるのではなく、泣いて
苦しんで悔んで辛い思いをして仕事をしているから
かんちがいしてはいけないと思った。また「私」など
の人がいるおかげで安心してあの世に行くことが
できると思うから感謝しなければいけないと思
った。

この授業を受けて私は命の大切さを学んだこれか
らはその人たちの分まで楽しく生きてこころと思えた。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話聞いて戦争はやてはだめなものなんだなと思った。一瞬間で人の命をおい焼ける野原による原爆はおそろいものだと改めて感じた。ぼくはこのような戦争は絶対なくしていかなくてはだめだと思った。話を聞く前は原爆というものをここまで怖いものだとは知らなかった。死亡率40%や中心地から3kmはなれても死んでしまったりして怖くさんくたなと感じた。原爆を経験した人が呼んでいるのがよく分かった。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原子爆弾の話を聞いて、あえて空襲の
受けていない広島などに原子爆弾を落としたことを
知りおどろきました。その他にも、そもそも原子爆弾
を使用したことにおどろきました。その場から少し
はなれていても放射線などが原因で、生きて
いる間は重い病気で苦しむことになってしまうと聞
いて、おそろしいと思いました。また原子爆弾は、
はねが付いていて、安定して飛んで来ると分か
りさらに怖くなりました。さらに、やけどをしている
人を助けてあげようとしてもひんかいて、ずるず
る落ちてしまうなら自力でトラックにのぼる必要が
あって痛痛しいと思いました。

そして、前に今もアメリカが原子爆弾を持っている
と聞いたので、危ないと思います。もうむせ者が
でないでほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、リトルボーンのことが一番心に
残りました。その中でもリトルボーンの熱
さがおどろきました。

ぼくは、初め原爆の熱さといえは、100~
300°Cくらいだと思、ていましたが、実際
に聞いてみたときに、表面でも7000°Cとい
うことをきいて、原爆のおそろしさにおど
ろきました。さらに太陽の表面よりも熱い
と聞いて、さらにおどろきました。ぼくは、
太陽が一番熱いと思、ていたからです。

そして、中心の熱さが100万と聞いたとき、
んな原爆をましてもいくらたら、人は一瞬で「
」にな、てしょうなと考、え「
」としました。
ぼくは、原爆のおそろしさを知、ってこんな
原爆は、甘、たいに投下されな、いでほし
いと思、いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日、わざわざ私たちに原爆のことを教えるに来て下さり、ありがとうございます。このような機会はなかなかないので、本当に大事だったと思います。私が、原爆先生の話を聞いて、とても心に残っているのは、人間が一瞬間にして、しょうがまはと、熱線泉で消えるということ、肉がとれるということ、そして虫が住んでいること、そして、爆発したときの表面温度が7000度と、太陽の温度を越えるということ。私が、この話を聞くまでは、原爆は、ただの爆発が大きくな、ただけで、たいしたことではないと思、ていました。が、実際に起きていることは、想像以上で、クロテスウエアよりも、すごいと思います。また、原爆先生の言い方がとてもいいので、そのときのじょうきうが、すぐには思いつかずに、このようなことは二度とあるはずはないし、核はすこいせけんたくなと来られたらと思、ていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いたり、実際に戦争を経験した方の話を聞いて戦争の事をよく知れました。

今までは戦争でどのような事がおこっているのかを知りませんでした。けれど、戦争で多くの人が苦しみ、悲しんでいたことを知り、平和な時代に生まれてきたことを今になってうれしいことだと実感しました。

私はこの授業のことをこれから色々なことに活かしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ほくか一番心に残った所は、ひふか
たれさかっていた所です。

どうにかしようと、ひふかたれさ
かかって、原爆がすごくこわいし
実感したからです。

お話を聞いているだけでもこわいの
に本当に釜の土場に行ったらもっとこ
わいと思いました。

その中で、にんむをちゃんとやた
お父さんは、すごいいと思いました。

今後このような事が無いといいです。
今日は、話してくれてありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて思ったことは

広島に原爆が落ちた、てことを知ればたれでも

数えきれない死人 けが人がいる、てことは分かります。

言舌を聞いたむに同情しました。原爆が落てる候補にな、た都市

はあ、たが都合が合あなから原爆は落ちないと言、ていたのを

聞いて、外国にと、て何か不都合があたら何万人のけが人も死人も出ず

に平和に暮らしていたのになあ、て思、た。

広島が危機にな、て私、はどんな人も見捨てずに人を救、たのは

とてもすばらしいと思、いました。

自分が何かの危機にせまたら人を助ける余裕もなくなるから

簡単にあきらめ、たと思、た。

それをし、て私、はものす、ぶいことをやり、てか色々な人を助、

んだと思、いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この授業で「トルボーイ」とかいろいろなことが
 知れてよかったです。ほかにも90分も話しをして
 くれていろいろなことが知れたけど、まだ「知れ
 ていない所」もあるで「ぼくもしらべてみた
 いです。あと原爆先生の「か!!」という所が「あ
 くり」したりおどろきました。ほか「知れな
 ことが」知れてみんなとうにありがとうございました。
 また来る時は、今日の五年生にもおしえたいた
 す。このことで「ぼく」は昔の人とかがある
 いたとをして「あ」の「バクダ」(トルボ
 ーイ)で「ころ」されたのは「か」おもうと思
 いました。ぼくもこんなふうに「ころ」されてし
 まうの「まじ」かた」と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話聞き、かわいそうな時、
しょうがない時、心の中であかんできました。ぼくは前
から原爆の話が好きで、原爆先生の話聞いて、お
もしろい話だなあと思いました。広島のことであまり
しげなく、ほんとうにきいてよかったですかあと思いました。
なので広島の話をしてくださり、ありがとうございます。
た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが、一番心に残ったのは、ひら、か
たれさか、ているということ。これを
きいて、ひら、か、たれさか、ている時代
もあったんだなと思、て今はとてもいい
暮らしをしているから感謝しようと思
いました。今回は、原爆のこと
についておしえてくれてあり
か、とうございしました。もしおしえ
てもらえる機会があったらおしえて
ください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆についてお話しいただいて、原爆は今まで知っていた知識がおそろしさなど、比べものにならない位にすごかった。原爆は、ほぼなにをしても防げず命をうばってしまう物ということも分かった。原爆のおそろしさなど自分が考える何倍もおそろしいことが少しでも知れた気がします。また、皮膚が溶けるのも想像で、怒物ではないと思いました。もし自分がその場所にいたら笑っていられるような物では絶対にないと改めて実感しました。この授業を受けて二度と原爆などを甘く見ないようにしていきます。原爆は人の命など何にもならないと思っとほくは考えました。何年、何十年生きても、たった瞬間で命はなくなってしまいます。その人にとっては悲しい事でも他の人は、何でもないそんな知らんぷりをするから戦争の原爆などでまったく関係ない人が被害者になってしまう。そんなことを少しでも知れました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今までも、広島で原爆が落とされ、その時の様子等を語ってきたけど、原爆のい"力"お、他の場所での出来事、その後など、細かい戸々はほぼ知らなかったのて、今日お話をきくことができてよかったて心から思いました。また、経験している人からは、まだまだと思っていたり、も、とふざけた事と思ていると思います。それでも、今自分が知ることかできるものは知りたいたいと思いました。

これから、このようなことを知ることができ、機会をのがさないようにしたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて
どれだけ原爆がおそろしいのかを知りました。
まず、原子爆弾投下都市の条件があ
ることがビックリしました。どこでも原子爆弾
を投下してもそんなにかわらないと思いましたが
ちゃんと条件がありました。①直径5kmを超
える。②平野であること。③空襲がなかった
こと。この三つの条件がそろっているところに
投下したら人のいるところに投下できず、条件
のそろっていた広島に投下したことを学んだ。
ぼくは、このことからまず、くせんを考へてからこうどうをする
ようにします。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて、原子爆弾が本当におそろしいことなのだと改めて分かりました。理由は三つあります。

一つ目は原爆の大きさが3.12mで4tもあるということです。そんなにも大きくて、重いものが落ちてくるのはおそろしいです。

二つ目は温度です太陽と同じくらいの温度が近くにくるといえるのはおそろしいです。

三つ目はおじいさんの泣いていたところやその時の人達を再現したものをみて、もって悲しかったと聞いたところで「え、もってこわいのおそろしいの？」と思いました。

そう考えるとぼくはまだ全然知らなかったこと気づきました。なのでこれから、他の事や原爆について知ろうと思いました。そうすれば今の社会について知れたり、自然と行動にでれるような気がしたからです。今日はわかりやすい授業をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

今日は、私たちのために原爆のことを教えてくださり、ありがとうございます。今日の授業を聞いて、びっくりしたことは、こんな爆弾一発でたくさんの人々が亡くなってしまうという所です。このような兵器に当たってしまった人は、亡くなったり、ひふがはがれ落ちてしまうということが分かりました。このようなことは、人々に大きな影響をもたらすので、二度と悲惨な思いをしないように、今、自分たちにできることを考えて行動をしたいです。また、先生が少し読んでくださった、7000°の少年は、図書館などで借りて読みたいと思います。他にも、原爆について書かれている本などを読んで、いろいろなことを知りたいです。そして、将来、子どもなどに話し、このような悲惨な思いをした人がいるということ伝えていきたいと思いました。私たちだけでなく、たくさんの人々にこのような体験を広めてください。今日の90分間、本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/14

今日は特別授業をして下さりありがとうございました。授業を受講する前までは、広島や長崎に原爆が落ちたことや死者がたくさん出たことは知っていて、悲しい状況になっているなと思っていました。けれど、授業を受講し、改めて、原爆の悲しさや死者の数、原爆の温度などを知ることができました。私が授業を受講して一番心に残ったことは、会社のとびらが開くのを待っているときに、原爆が落ちてきて、灰になり、飛ばされてしまった人が心に残りました。また、映像が付いていて、原爆の時の様子がとても分かりやすく、頭の中に入ってきました。そして、原爆先生の父親である、池田義三さんが原爆の当時の様子を知っていて、その本人がしゃべっている映像で語っていること、すぐには原爆を体験した人(被爆者)しか語るることができない。だから、当時のことを語るのは今ではとてもつらく、悲しいので、泣いてしまうのだと心から思いました。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、今日の授業を受けてどんだけ原子爆弾の悲惨さがすごいか知ることができました。広島に投下された原爆の中心温度におどろきました。太陽の6000°を倍以上にこして、そんなに高温な原爆をどうやって作ったのか疑問に思いました。

また、写真や図、ビデオで説明してくれたので、すごくわかりやすかったです。

私はビデオや写真などを見て、すごく命は大切なものなんだと思いました。今生きていることに感謝したいです。

今日、私たちに教えてくれたことは、他の人たちにも広げてほしいと思います。

2時間もの長時間、説明して下さい、けど、まだまだ知りたいことがたくさんあります。

今日は、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、ぼくたちのために原爆のことを教えていただき、ありがとうございます。ぼくは、この授業で、原子爆弾はとても恐ろしいものなんだと改めて感じました。また、知らない情報をたくさん知れたので良かったです。今日の授業で、ぼくは、おどろいた事が三つあります。一つ目は、死亡率が40%と非常に多いところです。ぼくは、軽傷、重傷、死亡、全てを合わせて四十~五十パーセントくらいと思っていたので、死亡率が四十パーセントでなっていて、とてもおどろきました。次に、原子爆弾の影響でなってしまう「原爆病」という病気があることです。原因は不明ですが、ぼくは放射能が影響しているのではないか、と思いました。最後に、原子爆弾の威力についてです。原子爆弾が爆発した時、放射能と熱気で辺り一面焼け野原になってしまい、大量の人が焼け死んでしまうからです。自分は、原爆が落ちる前に生まれてきてないのに感謝すべきだと感じました。また、次に原爆のようなものがやらないように平和でいることが大切だと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

いろいろな事を知りました。例えば、広島に落ちた爆弾単
は、1リトルボーイという名前の爆弾が1個落ちただけで
4万人の死者が出たというのを知り、人は焼き死んでしま
って黒い固まりのよ様な物だけが残り、とても怖いような
感じが100%ありました。いろいろ原爆のことや、リトルボー
イが落ちるスピードは約300km/hだ、というまた、町は雲に
包まれてしまった。広島県産業奨励館もリトルボーイのせいで
いっぱい粉々になってしまう。原爆、って何だ、と思うもの
もわかり、とても勉強になりました。しかも、兵隊はいろいろ
な町をめぐり、隊長の言うところに行かなくてはいけないと
いって進んで、常に前を指していたのでとても驚かされた
と思いました。最後には、いろいろビデオも見ました。原爆
がどれほど大変で辛いのか、わかりました。今後は、原爆
のことをもう一回見直し、あらためて見ていきたいな
と思いました。長い時間原爆のことを教えてくれて本当に
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。
僕は、候補になった都市が六つあったことにとは衝撃を受けました。なぜなら、広島と長崎の他にも落ちるかもしれなかった都市があり、その中には、日本の文化が、たくさんある場所も候補に挙がっていたからです。

また、原爆の中心の温度がとてもあり、太陽の表面温度よりもはるかに高く、地面の温度も、3000℃もあったことにとて月が痛みました。このような物を作れる人間と、それを放った、アメリカ人がとてこおくなりました。そして、義三さんの勇気にはとて心を打たれました。僕は死体があつた、人二クになつてしまつたら、そのような状況下でも、正副官に指示を出せる義三さんがとてか、よく、信念が強い、たと感じました。

今回は、テレビや新聞では、知れないようなことを知ることができました。僕はこの事を、頭の中に入れて、将来大人になったとき語りついでいきたいと思います。今日の授業でとていい経験をさせていただきました。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆のことを学んで、原爆のこわさを知りました。特に、原爆先生が原爆が落ちてくるしん間を、息や自分の声で表してもらってとても分かりやすかったです。二回目に「原爆が落ちると予告されて、兵隊達はかくれていた」という場面では、私もこわくなりました。実際、兵隊達はこんな気持ちだったんだろうなと思いました。また、アメリカが落とした、原爆についての説明をきき、47もの、原爆を落としたと知った時、広島には、どのような被害があったんだろうかと思いつつ、話を聞いたり、ビデオを見たりしました。そして、どのような被害を受けたかを聞いた時、「一番原爆のこわさを知りました。軍隊の人がトラックの上にあげようとしたけど、原爆の熱さで手に皮のようなものが残り、体は地面に転倒したと聞いてみて原爆が落ちた時、どれくらい熱か、たか、どれくらい危険なものなのか一番わかった、しん間でした。私は、今回の「原爆先生の授業を受けてみて、原爆のおそろしさや、こわさがよく分かりました。また、こういうことが二度と起こらないように身近なことで気を付けて、平和な世の中が続けられるといいな」と思



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは最初の份で原爆の小布さを国語では学び切れ
なかつたことが分かりました。さらに温度の話や、実話の時は
とても印象に残りました。手を持つただけで皮膚が取れ
たり、一瞬で人が消えたりして、一番怖かつたのは、遺体が山
のように積まれているというところで、どれだけの死者、どれ
だけの被害者がいるなどを知、ていれば人間ならこんなこ
とはしないなとぼくは思いました。他にも動画などで説
明を受けていた時は、とても悲しくて、なぜこんなことをしたんだろうと
思いました。そしてなんといっても実話の再現はとてもおど
ろきました。ぼくは原爆先生の授業を受けてぼくはこの悲
惨さを後世にも伝えて行きたいです。そして二度とこの
のようなことをさせないようにしていきたいです。
そして、このことを知、ていればボランティアなどにも参加
出来るので出来るだけ参加したいです。本当にありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

原爆先生、私たちのために、特別授業をしてください、ありがとうございました。私たちは、国語で原爆について少し学びましたが、それだけでは、まだ「足りていない」と実感しました。原子爆弾の怖さは、体験した人にしか分かりません。ですが体験した人々の多くは一瞬で大火傷を負い、命を落としてしまいました。残った人々は、今もなお被爆に苦しんでいます。原爆先生のお父さんも原爆を体験し、被爆に苦しめつつも、こうして私たち後世の人々に怖さを伝えてくれて、原爆先生も「7000℃の少年」や「原子爆弾の歴史」という本を出して、みんなに知ってもらおうと努力していました。先生がしてくれたお話は、一つ一つがすごく興味深く、そしてなにより原爆のおそろしさを伝えてくれました。先生に教わったことで「原爆について、少しは知識が増えたかな」と思います。誰がどう原爆について語っていても、体験したことがない人は真実を知ることができません。原爆を体験した人々の願いは、「二度と原子爆弾が投下されないこと」と私は思います。また、今だに戦争をしている国はありますが、そのような戦争、という何の価値もないものが少しでも減るために私は今日学んだことを色々な人に伝え



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、原爆先生に原爆について、すごくわしく、学ばせていただき、「原爆」への見方、感じ方、考え方が変わったと思います。今日、この授業を受けるまでは、「原爆は、こわいもの」だと思っていました。ですが、本当に体験した人しか分からないことを学び、こわいという言葉だけでは、表せない、すごく苦しく、悲しく、悲惨なものだったと感じました。原爆だけでなく、人々が苦しむ出来事はあってはならないと改めて思いました。体験した人が周りにいない私たちには、原爆というものについて、深く考えることはあまりありませんでした。そんな人が増えていくからこそ、苦しみも生まれていくので、原爆について教えてもらい、もっと苦しみのない世の中にするための小さな一歩を踏み出せたと思います。その大切な一歩をふたりにしたいために、今私たちにできることをしていきます。

戦争のこわさ、おそろしさ。一つ一つ、一人一人の命の大切さ。これは、今まで知っていたように、知りなかつたこと。今回の授業では、それについて考えるきっかけとなる貴重な時間でした。また、原爆は体験した人しか本当のおそろしさが分からないもの、ということも伝えるための時間でもあったと感じました。これからは、体験した人しか分からないものにして、できるだけ近づけるように、「幸せ」

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

とは何なのか、考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

ぼくたちのために、特別な授業を行ってくださってありがとうございます。

ぼくはこの授業を通して、学んだことがあります。それは命の大切さです。原子爆弾が落ちて、広島市の約40%の人口が亡くなってしまったところで、ぼくは、心が、もやもやしました。もし今、原子爆弾が落ちたらどうなってしまうのか、そんなことを考えながら聞いていました。

ぼくは、今、爆弾が落ちてこないことが平和だと分かりました。

また、とても貴重な映像や写真を見せていただきありがとうございました。ぼくは、映像などを見て、戦争の怖さを改めて、知ったので、もうちょっと、戦争のことを知ってみたいと思いました。

まだ、ぼくは、真の怖さを知らないと思うので、良ければまた、ぼくたちのために、授業としてください。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

まずはお急がしい中、蕨町小学校にきて下さってありがとうございました。

お話だけでも当時の様子が細かく分かり今でも原爆ドームのことや原爆雲^{なと}など思い出すくらい分かりやすく、勉強になりました。ありがとうございました。

最後らへんに原子爆弾が落ちたときの映像を見たとき(たくさんの命が一瞬にして失われるとさるを見たとき)体中がかたまり、のどがつまり「こわい、どころじゃなく、なんでいったらいいのかわからないくらいでたま。て見てるだけしかできませんでしたがし。かり見て、当時の人の気持ちをし少しでも知ろうと思いました。

今日先生は90分以上の長い時間とっていましたが私は「これで終わります」といわれたとき長いとは思わず...あ。というまの時間だったと思います。

今日は本当にありがとうございました



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

わたしは、今回の授業を受けて、印象に残ったことが3つありました。

1つめは、原爆先生のお父さんが広島におとずれた際に、焼き溶けた人の人形を見て「きれいすぎる。」と言っていたことです。わたしはその人形も、十分怖かったので、本当に戦争・原爆は恐いと思いました。

2つめは、原爆が落ちた時の音です。最初に聞いたときにはこわすぎてびっくりして、つい笑ってしまうほどでした。2回目に聞く時も、ドキドキして手汗で手がバタバタになった程こわくて、あの感覚、音が忘れられません。

3つめは、原爆の熱さです。40℃くらいのお風呂でも少し熱いのに、7000℃なんて、考えることもできませんでした。

今回の授業を受けてから改めて平和のありがたさを学びました。先日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の授業を受けて思
たことやもっと調べたいことが増えました。
最初原爆などにはあまり感じたりなかったです。
だけど、原爆先生の話を、原爆で苦しむ人や死
んだりする人がいることについて悲くなりました。
原爆がおきなければ死んだり苦しむ人がいなかったの
で、なぜ原爆がおきたのか不思議に思いました。
他にも、原爆についていろいろ調べてみたい
と思いました。

ぼくはどのような形で原爆が作られている
のかについて調べてみたいと思いました。

今日は原爆について教えてくださり
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

国語で学んだことだけではあまり被害が分からなかつたのですが、この授業を受けて原爆のこわさが改めて知れました。一番印象に残ったのは人が原爆によっていっしょにいなくなるように見えることです。動画で見た人も私が見たばかりでは本当に消えたのかなと思ってしまいました。それによって衝撃波もとてもおそろしいものだと思いました。衝撃波の一番おそろしい所は速さなのかなと思いました。池田さんが資料館で言った「キレイだ」という言葉はどういうことだろうと思い、周りの子と話してみました。私は現実の方がもっとひどい。こんな人じゃこわさが伝わらない。ということなのかなと思いました。すると友達が来たと思ったそうです。池田さんが見たものがこれ以上に怖いものだぞと知るとすごくぞろとします。また同じように二回目に原爆が落ちる時には手汗もずいぶんかたです。アメリカや他国に二度とこのような被害を出させないためには原爆ドームのような被害の大きさが分かるようなものを残してこれほどの被害を自分たちの国が出してはみたんだと思ってくれろと戦争などがなくなるのかなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/5

原爆先生の特別授業で今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。この授業で原爆の悲惨さや命の大切さも分かりました。写真を見ながらやったり、その場にいるように表現をして説明して下さったので分かりやすかったです。また、ビデオから直前の様子や、爆発したときの様子も分かりました。このことから、なぜ日本に2回も原爆をおとされなければならなかったのかなの思いました。その場にいるように説明して下さっていたときはその時の細かい様子も分かって感動しました。一瞬で命をうばってしまう戦争は、糸色文寸にしてはいけないということ強く思いました。写真や資料を見ながら説明を聞いたときには、原子爆弾のこわさを知ることができました。私はこの授業で、今までよりも戦争をしてはいけないということや命の大切さを実感することができました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

感想を書くにあたって、正直なところ、何を書いたらいいか分かりません。内容が難しかったのではなく、むしろ、原爆先生の授業は細かいところまで分かりやすかったです。しかし、分かりやすいほど身近に感じ、身近に感じるほど実際に想像するのが難しくなっていました。けれど、原爆の恐ろしさは嫌なほど感じました。

話を聞いている時、手をさわ、こみると手汗がすごくてゾッとしました。実際には聞いている時とは比にならないで"しょうけど"。

今回教えていただいたことを通して、私は一分一秒を大事に生きようと思いました。平和な時代に生まれた私が戦争について知り、原爆によって亡くなった人の分まで悔いの無い人生を送れたらいいと思うからです。

そのことを思わせてくれて、原爆とヒロシマについて考えさせていただく機会をくださって、ありがとうございます。教えてくださったことを、私はずっと忘れません。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、関町小学校に来てくださってありがとうございました。ぼくは最初の方「原火暴のしょうげき波で亡なりました」と思いました。でも本当はしょうげき波で、亡な人もいるけど熱さで死んでしまった方が多いということにおどろきました。なぜなら7000度は太陽よりも熱いし、その熱さを受けた人は、一瞬でいなくなるということにおどろきました。それと、話を聞いて思ったのが「三日の原子ばくだんが落ちるということがどうして広島に伝わってきたのか」ということであ、このことをぼくは自分で考えてみました。アメリカの人達は「広島にいる人達をまたさわがらせよう」と思ったからだと思いました。このことでは思ったのが「原子ばくだんは太陽よりも熱いことが分かったし、その被害を受けた人は皮が剥がれたりして、そこにいた人は大変だなと思いました。それと、原火暴先生のお父さんは、苦しかった広島のこゝろをぼくたちに教えてください、感謝します。」

これからは、ぼくも今日の授業を生かして、他の人に伝えていきたいです。今日は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して
ます。思ったことは、原爆がどれ
だけおそろしいことなのかとい
うことでした。広島市に投下した原爆は
14万人もの命をうばった史上最悪の
核兵器だと思いました。太陽が上
空600mのところまで来たほどの熱を
人々はくぐり、一瞬のうちに命をうばわ
れました。映像のことを通して、当時の人
々の辛さや原爆のおそろしさを理解
しました。戦争は絶文寸にはならない
ことです。このようなことを、自分の親、
将来にできる自分の子供、友人などの
多くの人に伝えていきたいと私は
思います。原爆投下から時間が経っ
につれ、原爆に対する人々の意識は
うすくなっていきます。そうならないように、
この特別授業で学んだことをしっかり
後世に伝えていきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、原爆のことを教えてくれた「さりあり
がとう」に「さ」いました。原子爆弾での被害
は「少し知っていました」が、今日の授業を
受けて、実際に体験した人の話をき
くは、今まで「に想像が「き」なから、た
くらの被害を知ること「が」「き」ました。
原子爆弾の投下「で」死んで「し」ました人々
実際に見た人の気持ちが少し分かりました。
また、ぼく達のために映像や写真など
を「き」な準備をして「いた」た「き」本当にありが
とう「さ」「さ」いました。当時の様子を知っている
父、義三さんの苦しみや、その他の原
爆に直接関わっている人々の痛みは
まだ「分」か「ら」な「い」こと「た」ら「け」て「す」が
そのおろしい体験をした人々の気持ちを
を後世に、伝えて「少」し「で」も「多」くの人に
原爆のおろしさを知、て「き」ら「い」たいと思
います。今日は本当にありがとうど
「さ」「さ」いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を受けて、広島がたくさん被害を知りました。広島に投下された「リトルボーイ」は、少年とも呼び、7000℃もの熱をはなち、私はそこでだから「7000℃の少年」という題名だったのだと分かりました。

原爆が太陽よりも熱く、鉄もとけるような熱いだなんて、はじめて知り、自分がこの場にいたら絶望してしまうなと感じました。

私が一番印象に残ったのは、約3分間のムービーです。原爆が近づいてくる前は、ケガ人は映っていませんが、たけれど、原爆が近づいてくる所から、本当に皆絶望し、私達の世代は全く分からない感情を実感したんだと思います。

先生のお父さんが原爆が落ちてきた様子を再現されたものを見て、「きれいすぎる」と言ったことを教えてくれたとき、私は再現されたものが、実際ではもっとひどい姿で、再現しているものは全然本当の様子に似つかないレベルだったのかと考え、より原爆のおそろしさを実感しました。原爆先生の特別授業を受けて、とても勉強になりました。プリントに書かれてあった

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

「7000℃の少年」や、「原子爆弾の歴史」も、読んでみたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

今回は原爆先生の特別授業を受けて、原爆のふさ
んさがよくわかりました。

それに、原爆の被爆者は
約24万人で、死者数は14万人と
とても多くの罪の無い人々が
被害を受けたと聞きとても悲し
い気持ちになりました。そして、
原爆での死亡率はなんと、40%
5人に2人の割合でお亡くなりな
ったということ。私は、本当にこの
世から武器なんか消えてほしいと思
います。それと何で世界中では、大
量殺りく兵器の研究の競走をし
ている国があるのか。戦争に何の
メリットがあるのか分かりません。この
戦争の歴史を忘れないで今の現代の
人にもっと広めてほしいです。そしたらきっと
いつか戦争は無くなると思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、今じっとも想像がつかないことが次々と説明されていき、悲しいという気持ちが、おそろさの力が強かたです。

広島の人々は平和に暮らしていたのに、どうして条件がそろ、ただけで広島、それに長崎までに原爆を落として...。たしかに日本とアメリカは昔仲がとても悪かたです。その時のせいかもしれませんが、でも、多くの人々が危険にさらされて亡なうてしま、た人も生き残れた人もどちらの人とも不幸にな、てしまうことを考えてくれているのでしょうか。罪の無い人々をまきこんでなにかいいことがあ、たのでしょうか。爆弾の威力が知、りたか、ただけで、多くの命をうば、てしま、た。アメリカはなにかあ、らうと信じられませ、ん。それとともにいつか私、たちも同じことに合、てしま、うかもしれないと、いうことを思、いました。昔のうらみか、いうかは返、てくる。原爆のおそろ、しさに改、めて気、づか、されま、した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原火暴先生の言舌を聞いて
原火暴の落ちたときの現状、原火暴の
いかなどたくさん原火暴につい
て知ることができました。また
先生の父さんの言舌を聞き原火暴の
ひとさがひしひしと伝わ、てく
るのを感じ取ることもできました。
だからぼくは、自分で原火暴につ
いて矢知らない人に教文えたり、
家方矢があまり原火暴のことで知
らない戸所を教文えあけたりした
いです。ぼくは、今回授業で原火暴につ
いてもっと知りたいたいと思っ
たので今度家で言周べてみた
いです。今回原火暴のことを言舌
してくたさりありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは死亡率40%のところにおどろきました。10人中4人も死亡するということで原爆の破壊力を知りました。ぼくはよしぞうロードマップを見て9日間でこれだけの事をした池田義三さんがすごいと思いました。話を聞いてぼくだったらすぐにはけたしてしまいました。改めて原爆のおそろしさを知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

原爆を投下する候補になった都市の中で、京都が除外された理由の一つで古い物が多く、人間にとって大切だと言っていたけど同じ人間なのにたくさんの人々の命をうばっていて罪悪感はないのか、と思いました。原子爆弾のせいで5人に2人が死亡という確率でびっくりしたのもありますが、今この時代でこんなことがあたらと思うとこわくて仕方がありません。でもどんなにこのことを調べたり、知ったとしても実際に体験をしてみないと分からないのだと思いました。私は原爆先生の授業を受けるまで原子爆弾のことについてあまり知らずにいたけれど、この授業でも、とこういうことを知らないといけないのだと思いました。そして、学んだことを知らない人などに教えるのも義務なのだと思ったり、同じ日本人だからこそ、と覚悟していなければいけないということに気付きました。実際に体験した人たちは、思い出したくもないことかもしれないけど次の世代に伝えていかないと知らないままになってしまうから大事な事として、新しい知識としてたくさんの人に知ってほしいと思います。この授業を通して、知識だけでなく、体験した人たちの気持ちを学ぶことができました。特別授業のことだけでなく、他のまた知らない歴史などを勉強したいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

このたびは、原爆先生の授業としてお時間をくわけてほくたちに原爆が落とされた時の事についてお話しして下さいありがとうございました。

ほくは、この授業をして思ったことが2つあります。一つ目は、そもそも日本とアメリカの信望いをこわしていなければこのような事件が起きなかったと思います。また、たとえ日本とアメリカの信望いを築けていれば原爆を落としたりはしないとはなされたかです。

次に、アメリカはすごいんだな。と思いました。なぜなら、アメリカは日本よりはるかに強く人口も多いい国です。またこのことから原爆の力が強いのでも分かりました。

今日、この授業を受けて一人一人が日本と他の国を大切にすれば、原爆が落とされたり争いが起きなくなることかなと思いました。なので、これからは一人一人が日本と他の国々を大切にできるように呼びかけていきたいです。今回は、ほくたち六年生に原爆先生の授業として原爆のことについて教えてくれてありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/5

今回、特別授業を受けて、原爆の本当のおそろしさを知りました。私は原爆ドームに行、たことがあります。そのときは原爆のおそろしさを知、たつもりでいました。しかし、何万人もの人を苦しめ痛めつけた被爆者の体験をきき、そのとき体験した人でないと分からないおそろしさがあることを知りました。だから、私もおそろしさを本当に理解しているわけではない人だと思います。被爆者の方は今も苦しんでいます。私たちがそんなまちがいをもうおかさないために、私たちが一人一人ができることを考えて行動することが必要不可欠だと思いました。戦争の話を私たちの子から子へ受けついでいくことも、私たちにできることの一つだと思います。

今回、とても貴重な体験をさせていただき、たくさんのお話を学び、考えさせられました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

先日は、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。私は、4年生の時、原爆ドームと原爆資料館を見に来ました。そこで見たたくさんの展示物や写真が今も私の頭の中で浮かび上がってきます。8時15分で止まった時計、真黒に焼けた服やお弁当などがありました。その中でも一番不気味でおそろしく感じたのが入り口にある人形でした。その人形を「きれいすぎる」とおっしゃったのを聞いて原爆のおそろしさを改めて感じました。被爆者をトラックの荷台に乗せようとした時の話もとても衝撃的でした。太陽の表面温度よりも高かったことや、広島や長崎以外の都市も候補になっていたこと、防火用水の桶の中にひざをかかえるようにして入っていた死体のことを知り胸が苦しくなりました。なぜこんなおそろしい兵器を作ったのか、どうして原爆を投下するまでに至ったのか疑問に思うことがたくさん出てきました。このようなことを2度とくり返さないため疑問に思ったことの答えを調べそれを後世に伝えていくことが私達の役目だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて印象に残った所は「ドカーン！」で戦争の空襲がこれだけすごい力だと知りました。でも空襲は本当にその時代の人じゃないと分からないくらいのかたから本当におどろきました。また原爆の強さを測るラジオゾンデなど知らない事をたくさん学ぶ事ができました。この事から考えた事は今はもう戦争はしないが原爆の怖さは分からないけど原爆で死んでしまった人たちはどんな事を考えていたのかを学ぶことが出来ました。この一日原爆について教えて下さりありがとうございました。これからもこういう機会があれば積極的に学び自分の意見を持ちながら取り組んでいきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/5

原爆先生の特別授業を受講して、僕は今まで知らなかったことについて、考えたことが一つあります。

知らなかったことの一つ目は、原子爆弾の熱さが太陽(6000℃)よりも熱いということでした。受講する前は、放射線などが危険なだけで、そんなに熱くはないんじゃないかとあまり詳しくは知らなく、適当に考えていましたが特別授業を受講して、太陽より熱いことを初めて知りました。家族に教えてあげたいです。二つ目は、原爆により、死亡した人が広島市民の約40%だったということです。今回の授業で、被爆した人が約70%だったということもわかりました。改めて原爆の悲しさを感じました。

池田曦三さんが語っていたように、皮が肉からはがれおどろというのは、聞いただけでも恐怖感が感じられます。考えたことは、これから先50年、いや100年後には原爆の事がもう忘れ去られてしまっているかもしれませんが、その時のために原爆の悲しさを子どもや孫に教えて、後世に伝えていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12 / 5

今回、この特別授業を受講して、私は、改めて原爆の幸さを知りました。私自身、祖父から、戦争について、祖父の体験をもとにして、教えてもらったことがあります。また、学校の社会の授業でも、今だに原爆のせいで、病気に苦しんでいる人や、幸さで人に原爆のことを話せない人がたくさんいる人が苦しんでいるということも学びました。ぼくは、今なぜ、こんなことが起こってしまったのだろうと思っています。そして、起こらなければどんな生活を送ることになるのだろうとも考えました。ぼくは、まだ子供であるため、戦争を無くすためにできることは、少ないと思います。けれど、そのできる小さなことでもぼくは、やっていきたいと思っています。このことから、私は、戦争を体験した人たちの話を聞いてみたいと思いました。これからは、ぼくにできることをお尋ねしていきたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、昔の衝撃の広さや、人々の辛さが伝わってきました。そして、原爆のことをお話になってくれてありがとうございました。昔はいろいろな苦しみを味わう人がすごいいたり体や顔などが火傷している人が多くいて、辛いなんて言えないぐらいの苦しさだったと知りました。リトルボートで町を爆発させようとしていたビデオを見たとき、ぐるぐるしながらすごい勢いで向かって来ていて、それが落ちた瞬間、町全体が火やけむりでおおわれたとき多くの命が失われていてすごいひにくさも知りました。このような日本じゅうが悲しみや苦しみを知って見たり、聞いていたときとても悲しかったです。またそんなことがあったら絶望をもたらずけなので、だから私は少しでも平和につながる自分に出ることをします。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を終えて思ったことが、四つあります。一つ目は、原爆は多くの人の命をうばうんだなと思いました。理由は、死者だけでも十四万人だしてるからです。しかも、死亡率は四十パーセントもあるからです。二つ目は、原爆の名前が「リトルボーイ」というのが不思議でしかたありませんでした。人を殺す機械に日本語で言うと少年と言う名前にしたのが不思議に思いました。三つ目は、個人でも原爆や戦争のことについて調べたいと思いました。先生の話を聞いていくうちに楽しくなっていく、資料館へ行きたいなと思いました。四つ目は、将来、原爆や戦争に詳しい先生になり楽しく、分かりやすい授業をしてみたいと思いました。先生みたいにくわしくなるよう調べたり勉強をがんばりたいと思います。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の原爆先生の授業を受けて2つ疑問に思ったことがあります。一つ目は被爆者を背負っていた時どういう気持ちだったかということです。正直に言なれば「血がつくからいやだ」気持ちが「悪いと思うけど」、あの時の感じは「早く助けたい」という気持ちが伝わってきました。また「早くこの戦争を終わらせたい」「家に帰りたい」が一番私が思っていることだと思いたけどそうではなくて早く助けたいという気持ちになぜなりたのかすごいと思ながらも疑問に思いました。二つ目はなぜこのような活動をしているのかです。被爆者でなくてもらつうはゾッとするし、被爆者であれば二度と思いだしたくない出来事だからです。今思いついたことでも、「二度と戦争をしない」ぐらいしか思いつかないし、「原爆のことを知ってもらう」のもあるかもしれないけど最終的には、「二度とあの出来事を思い出したくない、経験したくない」という思いが一番あると思います。でも私からしたく思い出させたくない、経験させたくないという思いもあるのかもしれませんが。今日の授業で原爆についてよく学べ生かしたいと思います。今日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆戦争の学習で原爆の凄さを分かりました。初めて原爆のいりよか、被爆者の思いなどが分かりました。広島と長崎以外にも原爆の候補になった都市がたくさんあるのを初めて知りました。原爆を広島に投下されるまでこのようにして投下されたのがよく分かりました。さらに原爆の表面が太陽と同じ温度だと思ってもうそうできないほどのあつさだと思いました。しりよか、えいそうを見ていくうちに原爆の凄さを感じます。今回の学習で原爆についての考え方が変わりました。前には原爆は8月6日広島に投下されたというくらいしか知らなくて、今回の学習でさらにふかく原爆について学びました。今回の学習で学んだ事を将来に生かしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この授業を受けてほくは、とてもひどかったということ
を思った。正直、最後の方のテレビの資料は目を
そむけてしまった。こんなこと、いやこれ以上のこと
を見てきたのはほくは、すごいと思った。ほくは、
軍からの命令でも何でもあんなことはやりたく
ない。ましてやそんなことがあったとしてもまだ
そんな人、説明ではようなものを救おうとしよ
うとできるなんてすごいことだ。またそれで、その
経験を思い返しそれを他のたづねかに伝える
など、このことをできるのだから、感心した。
またこの教えを生かし二度と戦争をおこさないよ
うに何かの運動があれば今日のことを思い返し
必ず参加したい。ほくはこの原爆先生の授
業を大事だと思った。ほくは、最近では静まった
が原爆を作っている国があったあの時は
何にも深刻に思っていなかったが原爆先生の
授業でこの深刻さが分ったからだからこの
授業は大切だと思った。他の人にもこのことを教
えてほしいと思ったのでこれからがんばってください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

私は、原爆の恐しさはわかっているつもりで
したが話をきいていると、自分の知らなかった
恐しさがわかりました。これからは、被爆さ
れた方がたの気持ちを考えながら学んでいき
たいです。また、今日のお話を家族に話した
と思います。また、原爆をおとすのに3つの条
件があることも始めて知りました。あの小説
では、読んでいる途中で大きな声をだした
り、鼻息を利用して、どのような風景であつた
のかを想像しやすかつたです。あのえいぞうでは
爆弾がどのようにおちていったかがよくわかりまし
た。死亡率が40%。たときいたとき、すごく心
が痛くなりました。また、それだけものすごい
爆弾、被害だったんだなあ...と感じました。
そして今回の授業で一番おどろいたのは、太
陽よりも熱いものが上空600mにあつたと
いうことです。太陽があつたけあつたのに、それ以
上のものが太陽よりも近くにあつたということに
とてもおどろいてしまいました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業をうけて原爆の悲しさなどがとても心にひびき悲しいことなんだなあと思いました。話を聞く前にテレビに映ってた「7000の少年」という題名を見て意味がよく分かりませんでした。でも先生のお父さんの実体験の話を聞いたらよく分かりました。私はこれから戦争や原爆の悲しさを忘れずに人生歩みたいと思いました。なぜかという原爆を落とされた人々は多く亡くなってしまったしそんな中でも生き残って頑張ってる人もいて、今も家に帰れず苦しんでいる人もいるからこれから先は戦争や原爆の悲しさを忘れずに歩もうと思いました。また最後に先生のお父さんの動画を見て泣いてしまった時にそんなにつらかったんだなあと思いました。このように二度とこのような事が起こらないように色々な人が戦争や原爆の事をちゃんと知ったほうが

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

いいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今回の授業を受けて少し知識が増え、気持ちも変わり、以前と比べて原爆への意識も大きく変化した。まず、8月6日、広島県に爆撃機が投下された当時の衝撃についてだ。私は原爆が投下されたときの実際の爆風や熱を感じることはできない。しかし、今回この特別授業で資料や映像とともに当時のむごさや悲惨は感じる事ができた。私なら、きっとその状況に絶望し、被爆者を助けることもできないと思う。だから、今回感じたこれらの気持ちを大切に、もっと戦争について深く考えていきたい。次に、その後の広島の様子や、日々についてだ。当時の様子を伝えていくことや、資料館で原爆について調べることはもちろん、その状況を実際に体験した人から話を聞くことはとても大切だと思う。「記録」と「実際」では大きな差があり、きっと記録では伝わらないことや、考えたり、感じたりできない部分も多くあるはずだ。このような内容以外にも、たくさんのお話を学ぶことができる授業だった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受けて私は、原子爆弾により、5人中2人もの人が亡くなったことにとってもおどろきました。話を聞いていると、ちゅう、あまり聞きたくないと思、た所もありましたが、そのうち、このようなことがもうおこらないようにすることはできないのかと思うようになり、ました。最後には、自分たちはどうしていけばいいのかを考えていきたいと思いました。

私は、多くの方が原爆のことを知るべきだと思います。そのためは、自分が原爆について調べ、周りの人へ伝えていくことが大切だと思いました。また、ひがいにあった人々の気持ちを考えることも大切だと思いました。そして私は、まだ原子爆弾により今も苦しんでいる人の事、戦争を今もしている国があるという事を考えながら、これから生活していきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの話を聞いてなせ義三さんが日記を書いたのかやどのような気持ちで書いたのかふしぎでした。自分の考え方には家族に戦争や原爆のおそろしさを伝えたかたのだと思います。また原爆先生が自分のことをもとに原爆について教えると知ったときもう戦争などはおこしてはいけないうつろいといよと言ったと思います。冬休みに原爆資料館に行こうと思っていますが今日の話を聞いて見方が変わると思います。今日義三さんの話をしているビデオを見ました。広島にいたときの話をしているときはないいたため原爆のおそろしさがわかりました。これから原爆について学ぶとき今日聞いたことを生かして学びたいです。また今日学んだことはこれから戦争が起きないようにするために生かしていきたいと思います。そして、また原爆でくるしんでいるということを考えながら暮らしていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/5

今日の学習で原爆のひさんさを改めて感じました。この授業を受ける前は“原子爆弾投下の条件”や“候補にな。た都市”、“リトルボーイのしくみ”など、何一つ知りませんでした。でも原爆先生のお父さんが書かれた“7000の少年”で受ける前知らなかったことが全部知ることができました。本を聞いているとき私はとんな思いで原爆について書いたのだろうと疑問に思いました。今、本当のことは知ることができませんが、私は原爆について書きたくてもおさまらなかつたのではないかと考えました。そして、一人下も多くこの本を読んで、原爆のひさんさ、平和の大切さを知。てほしいと強い思い書かれていたと思います。この原爆の学習を「ただ校たたと受け止めるだけでなく原爆を経験した人々の思いや原爆のことを私たちに教えてくださ。た原爆先生の思いを考えながら学びました。また、今日の学習から、自分の原爆の知識で日本の平和の支えになりたいと強く思いました。そのために原爆についてたくさん知識を習得しようと頑張りたいです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/5 (水)

私は今回の授業で原爆のおそろしさを今まで以上に思い知らされました。私は原爆先生が原爆の音を口ずかす音で表しているとき少し笑ってしまいました。その時の私の気持ちには、あまり原爆について深く知っていなくて軽く思っていたのだと思います。ですが、池田義三さんの映像を見て、なみだを流し、原爆や戦争のおそろしさや悲惨さをうたえているのが、すごく伝わり、できました。その時私は、なぜさっき笑ってしまったのか、すごくこころいをしました。

だから思ったことは、原爆先生や原爆被害者が一番伝えたいことは、私が感じたことなのかなと思いました。原爆先生たちは、その事実を伝えて、そこからどうするのかを考えるのは私たちだと感じます。だから私は、これからもっと原爆について少しでも多く知り、また同じことはしていけないという考えをできるだけ多くの人たちがしていくことが「大切だ」と思いました。それが「私たちが」これからの世の中に生かせる一番の行動だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

これから、より原はく、戦争への意識を強めたいと思
いました。理由は、今でも2つとも起こりかねないし日本で
実際に原はく、戦争などが起きているわけです。なの
でより意識して学んでいきたいと私は、思いま
した。もちろん原はく、戦争は、だめな事です。なの
で私は、この今日より学んだ事を生かしていきたい
と思いました。理由は、今日のじゅ業でより原はく、戦
争は、やってはいけなくて亡くなった方々も2度とやってほ
しくないと思っているはずなので私ら一人一人がまああ
たりまえですがこのような事が2度とおきてほしくない
と思ひ。より2つの事をたくさん知っていく事が私
は、生かしていく事でより大切な事じゃないかと思ひ
ました。今回の特別じゅきょうであまりっていかほと
んど広島と長崎に原はくが落ちた。くらいし
知らなかった私に原はくのひさんさを伝えてくれま
した。今度は、私達が調べてほかのあまりくわしくな
い方々に教え2つの事への意識をたくさんの方々に
広げていきたいと思ひました。原爆先生ありがとう
ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、戦争や原爆のことをもっと知らないといけないなと思いました。学校の授業で戦争や原爆のことを勉強して、それで分かった気になっていたけど原爆先生の授業を受けてまだまだ知らないこともすごくたくさんあっておどろいたからです。またなのでこれからは、今日学んだことをしっかりと自主的に調べたり、家族に教えたりして生かしていきたいと思いました。今日は、原爆の候補になった都市のことや、衝撃波の速さ、戦争、原爆のひさんさなど、多くのことを、実体験をもとにし、資料や画像、動画を使ってていねいに教えてくださってとても分かりやすく、勉強になりました。今日はわざわざ戦争、原爆のことについて教えに来てくださりありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、この特別授業を受講してみて、原爆へのとらえ方が変わったような気がします。たとえば、原爆を体験した方へのとらえ方、原爆のひびきさ、などのとらえ方が変わりました。

広島市では、5人に2人が、被爆者になったと聞き、私は、たいへんおどろきました。なぜかという、原爆の力で、多くの命を、きせいにすると、思、たからです。

なので、私は、この世界に、にと、原爆とうかされたくないと、思いました。

この「原爆先生」の特別授業を受講してみて、広島の、「原爆ドーム」に行てみたいと思、う気持ちか、芽生えま、した。なぜかという、本当におきた場所に行て、初めて、原爆についての知識か、つくと思、うし、行て見て、実物をし、かり見た方か、原爆の事を感じや、ありと思、ったからです。

この授業をうけて、前までは「広島、長崎で原爆がおきたんだなあ」と思、っていたた、けだ、た、けわと、原爆先生や、よしぞうさんの話を聞き、原爆について、し、かり考、えられて、よか、た、です。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆戦争を学ぶ気持ちをもう少し深く考える必要があると思います。理由は少し集中力が欠けたことがあったからで、話の途中で目をそむけたりしてしまいました。そのようなことをしてしまうと被害者や兵士が悲しんでしまうと思います。せめてかかんで苦しみでも生きているのに何も知らないからは目をそむけられてしまう失礼だと思ったからです。なのでこれからはその戦地にいた人の気持ちまで考えてこのような特別な授業を受けたいと思います。しかし学人でもこれを生かすことができなければ学人の意味がありません。そこでどう生かすかは社会のためか自分のためになるのか考えたいと思います。それで考えた結果戦争を二度とやらないための最低限のことをやるということが社会として自分のためになると思いました。その最低限のことは今回のように人に戦争のことを教えたりにすることで、それで家族破壊と考へ合うと自分で考えることができます。はい、と思います。今日原爆先生のお父さんが泣きながら人々に訴えてくれたのもあのあつましい戦争を二度とやらないからだと思います。なのでへえうな感じで終わらないで今度はぼくたちが

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

かかんはるばるだ、と思います。

今日はおおききありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆のことを原爆先生に教えてもらって、原爆のひさ人さを知りました。社会の時間だけでなく今日原爆先生に教えてもらい、具体的なことも知ることができました。ぼくは、今日このような形で原爆のことを教えてもらい、これからの授業の学習で、原爆で多くの人々の尊い命が亡くなり、今も原爆症になっている人もいるのを、バカにしないで真げんに学びたいです。また、これからの今日の学習で、これからの人生で2度と戦争をくり返さないために、ぼくが大人になってから、子どもやチビダリがまのようにこの戦争や原爆のことをぼくもくわしくは知らないけど、今日の知識だけでも知らない人に教えて、戦争や原爆の記念館をぼくも見にいき、くわしく調べて、みんなの人に教えて生かしたいです。また、ぼくは、戦争のときの生活や国の様子はどうなのかが知りたいたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅんせいの特別授業を受講して

表

ぼくは今の今まで戦争についてあまり関心がありませんでした。でも被爆者の痛々しい姿を想像すると無関心ではいられないことを実感しました。ぼくは今後、太陽の表面温度の6000℃より高い7000℃の熱線や音速の衝撃波によって8月15日の終戦を知らなかった人たちのことを考えて学んでいこうと思います。なぜなら、このように学ぶことによって少しでも被爆者の痛みや苦しみがわかる気がするからです。このような学び方をして原爆のおそろしさや戦争を戒めなければならぬという使命感を持っていくことを改めて決断しました。また、被爆者を二度とつらいようにしないでいくことも大切なことだと思いました。でもなによりそのことを次に伝えていくことが一番大切なことだと思えます。なぜなら、次に伝えなければいつ戦争もおきおかしなくなってしまうからです。ぼくに戦争についてさまざまなことを教えてくださりありがとうございました。原爆先生のおかげでさまざまなこと知れたと思います。でもこれでも知識やおそろしさの実感はまだ浅いと思いますので、もっとたくさんを将来矢口しては、戦争をなくせるような努力を自分なりにしてゆきたいです。その上で戦争の問題解決や平和を願っています。さまざまなことを教えてくださり改めてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

今回の授業で僕は、他人事だと考えているから戦争は無くならないのだと思った。確かに、助け合
い、つまり共助は美德で、素晴らしいと思うし、実際
そうだろう。ただ、他人事のように思っていたら、
それに実感が伴っていなければ戦争は無く
ならない。なぜかといえば、それはいつでも手を引けるか
ら一歩なくともそう思っているからだ”と考えた。た
から、戦争などの学習において、「自分なら何をす
るか」と考えながら学習することはとても重要だ”と思う。
授業の最初、正直知ってる事は”かりでつまらない”と
思ってしまった。しかし話を聞いていくうちに、現地の兵隊の
視点から見ると、全く別の筋書きだということが分かり、
次第に話に引き込まれていった。そして、自分が甘か
ら”と感じた。戦争の話聞くたひ”どこか距離
を置いていたのだけだと、今回は本当にリアルで、
その光景が容易に思い浮かんだ。そして、義三さんは、
こんな風に戦争を実感して欲しかったのではな
いか”と思った。そして、二度と戦争を起したくな
い”と思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、ほく達のために授業をしていただき、ありがとうございます。ほくはこの授業で自分事だと思い授業を受けることが大切だと思いました。戦争では人々がどのような気持ちだったのか、どのように生活していたのか考えて授業を受けてみたいと思いました。またこの授業を聞いただけでなく終わった後に友達と話し合い、意見を深めていってまたこの事を教える話するような人の役に立つとても大切な仕事につきたいです。そして一つほくは疑問があるのですが最後、池田さんが「キレイすぎる」と言っていたところで実際と同じでキレイなのかもっと本当はあんまりキレイと言ったのが感動したのかそれともあんなにキレイなのかをほくは疑問を持ちました。また機会があれば教えてください、また次きた時にも色々な人に教えてほしいです。今回は本当にありがとうございます。



原爆先生の特^{じゆこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで学習してきたことは原爆がいつ投下されたか、いつ終戦だったのかなどというくわしくあまり学習していなかった。けれども今回の原爆先生の話を聞いてくわしく知ることができた。そして原爆のおそろしさや人々がどのような状態だったのが、どのぐらい被害があり苦労したのかをくわしく学んだ。この機会をき、かけにこの原爆の話を忘れずに家族や友達などたくさんの人に伝えていきたり、またこのさきまた戦争のことや原爆のことを学ぶことと思うのはそのときは被爆者などの方がどのような気持ちであったのかを考えたりにしても、くわしく学んでいきたり。この話をきりてたくさん学ぶことがあったと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原爆先生の特別授業の最初のふんいきから、私は戦争に対して、常にしんけんしていなければいけないということを、とても感じました。

私が、この特別授業でとてもおどろいたことは、2つあります。それは、熱線が太陽の表面温度の約1000度高いということと、熱線で、内臓までもいっしょんで蒸発してしまうということです。熱線は太陽のほうが温度が高いと思っていたので、とてもおどろきました。また、それを受けると皮ふだけでなく、内臓までもいっしょんで蒸発してしまうところが、さらにおどろきました。

原爆先生の特別授業を受講して、これからは、原爆のおそろしさを話して、たくさんの人に伝えていきたいと思いました。なぜなら、たくさんの人に知ってもらえれば、戦争が、少しずつでもやりたいとは思わなくなると思っているからです。この特別授業によって、知ったことを、これから先に生かしていきたいです。また、生かしたことによって、世界平和につながってほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生へ。

今回の授業ではほとんどの人が原爆の恐ろしさを知りました。私たちは幸い、戦争のない時に生まれて、今を生きていることのありがたみを感じなければいけません。その重みは知ってなければならぬと思っていました。中でも、私が想像した以上に恐ろしかった原爆で、沢山の人々が亡くなったことについては、ここには書けない気持ちで、はいになり、戦争を恨めしく思い、震えました。沢山の尊い生命が失われたことの重みを言入れ、本来の私たちの人々の生命の救済のためを、今回の授業を「おして守った」と思います。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の勉強で、原爆のことや、戦争のことが良く分かりました。原爆先生の話聞いて、原爆の怖さが(おそろしさ)よく分かり、悲しい話でした。この特別授業を通して、僕が知らなかった事などが学べました。一番この授業で悲しかったところは、個人的に原爆先生の父の「インタビュ-DVD」の時です。たくさんのおくたふった人のくるしみや悲しさが心にひびき、悲しかったです。僕は、原爆や、戦争をしてはいけなると感じ、これからは原爆のことを調べて、73年前のことを大切に生かしたいです。最後に、この特別授業ができて、大切にすることが学べました。とても良い授業でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今日の授業を受けて3つ心の変化がありました。1つ目は、昔の人々への思いです。原爆の恐ろしさ
 が分かり、昔の人々はき、とこういう思いだ、たんだなと深く考える
 ことができた。2つ目は、あきらめないということです。
 原爆先生のお父さんの言葉を聞いて、決してあきらめなければ
 き、と思いは届くと思ったからです。

3つ目は、授業を受ける態度です。1つ目に言った理由
 と同じで昔の人々の思いを感じながら授業を受けるべき
 だと思、たのらで、これから、戦争の事になったら一
 生けん命考え人々の気持ちるを思、て学んでいきたいです。
 またそれを自分の誇りの中に入れ自分の知識として生かして
 いきたいです。私がこの授業を受けて疑問に思ったのは、
 なぜ原爆先生は、私達のような子供に戦争について教える
 のかです。たくさんある職業の中でなぜ戦争を教えるのは
 非人間的なのか疑問に思いました。そういう疑問がある
 なかで私達の子供達に戦争の悲惨さを教え、人々の気
 持ちが分かる。優しくて、せんさいな子がたくさんいて明る
 い世界にしていけたらいいなと思、ました。今日は私達の
 ためになる授業をしてくださって本当にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/5

ぼくは戦争や原爆などをまだまだあまく見ていました。

原爆などは死者数かとても多くけがをした人達だ。たんだらうな。と思っていただけで、とてもそんなことじゃあはしませんでした。

ただただ社会の時間で真面目に聞いてたけどそんなもんじゃありませんでした。太陽の温度よりも1000度高い7000度で600mの上空地面の温度は3000度人がしゃんして水分が集ま

われ死んでる。キバットが曲なにかしたかたんだらうと思います。広島に投下された「リリVボー」は少年といわれ味でした。その時はも

いやな針鋸「リリ」だった。池田義三さんは原爆資料館で人形のその時のたいたいなのを作っていたが義三さんは「きれいだった」とい

ふけいた。この言葉を聞いて涙がはたのたのたふたんだらうな。これは御幸橋の実話として書かれた。流川七として書かれた

たす。義三さんはまたお伝えた。このお話を聞いて、日記を書いて

てんを思い出したのか知りませんが、その時の徳島、三倉などは、とてこ

つり軸、たいてい（？）でして、その場で死ぬ人もいます。これは本当です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/5

ぼくは、原爆先生の授業を受講して、戦争はこの世界で最もしてはいけないうことだと改めて、実感しました。世界じゅう、この思いがあるはずなのに、また戦争をしている国がある。こうした出来事、戦争が起きていることを忘れないことが国民にとってとても大切なのではないかと思いました。今回の学習は、原爆のひさんさ、こわさは、ほかでは、きけないうことをきけたと思いました。だからこそ、きちょうな時間で学んだことを忘れずに生活していきたいです。社会の授業で、原爆について学習しましたが、太陽よりも温度が高いこと、3つのえいきょうがあることなどを知れて、この知識を身の回りの人々に伝え、戦争はだめだと今回学習したことを生かしていきたいと思いました。広島県や長崎県以外でも、戦争のひがいがあるなので、ほかの出来事を学んでいきたいです。またまた、戦争の知識を得ていない人々がたくさんいるので、これからも活動をつづけ、がんばってください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生は真剣に教えてくれるので、真剣に様子を想像しながら受講しました。破爆者、兵隊さんたちの苦しさが分かりました。原爆が広島に投下された時の音は原爆先生が再現してくれたものだと思ふと、すごく怖いと思いました。人々が暑さのあまり、川に飛びこみ、水が蒸発してしまふことにおどろきました。当時広島にいた人たちは、何が起つてゐるのか分からないし、川の水が蒸発してなくなつてしまふなんて考えられなかつたと思います。私はこの授業を受けて、今後戦争、原爆などはしてはいけないと改めて思ひました。戦争、原爆により多くの人が亡くなつてしまつてしまつた。そして、今もお苦しんでゐる人々がいることも分かりました。疑問があります。それはなぜアメリカが原子爆弾投下都市の条件に、空襲がなかつた場所にあるのかです。空襲がなぜなかつたほうがいいのか疑問に思ひました。私はこの授業の意味は何なのか、原爆の恐ろしいのは何なのか考えていきたいと強く思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、話の中の火爆心地に近づくにつれて、人の姿ではなくなっていたというところにおどろきました。原爆がこれほどの被害をだしたということを知り、とてもすごいものなんだなあと思いました。また、今でも原爆病に苦しんでいる人がいるので、原爆は二度と使てはいけないなあと思いました。これからぼくが戦争について学ぶときには、人々の気持ちを考え、他人事だと思わずに学んでいきたいと思います。もしかしたらぼくがこれから先戦争に巻きこまれそうになるときがあるかもしれません。そんな時には今日学んだ原爆の話をもっとし、しっかりと反対の意見を言うようにしたいです。この先、戦争をけいけんした人は少なくなっていくと思います。なので、今度はぼくたちが今日教わったように戦争や原爆のひびきを伝えていきたいです。そして、後の時代まで戦争が伝えられていけるようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

学校で学んだ戦争の学習。その学習はすぐに終わってしまった。しかし、原爆先生の授業で、改めて考えさせられるようになりました。原爆を落とす候補になっていた都市がらつもあったことにおどろいた。しかし、ここで疑問になったことがある。2番目に小倉とでていることだ。なぜ、アメリカは小倉をねらわなかったのか疑問になりました。広島に落とされた1つの原爆だけで、広島市の人口の40%が死んでいたことで、びっくりした。また、この授業を受けている中で、今後の日本は、自分たちが国をつくるので、もっと原爆を知らないといけないなと思いました。また、選挙権ももうすぐ持つようになるので、本当に戦争を知らなければならぬなと思うことができた。学校で戦争について学んだときも、もう戦争はいけなはいけないとは思っていた。が、その根拠となる理由や、わけがうまくいえなかつた。はっと頭の中であらうかべることすらできなかった。しかし、この特別授業でその理由が、はっと頭の中であらうかべられるようになりました。原爆での死亡率は40%。ということは、5人に2人が死んでしまっている。このように原爆だけの死者はとてつもなく多いです。戦争にならば、死者はどうなってしまうんでしょうか。このように戦争をして良いことはない。だから戦争はいけないなと思うことができるようになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、「戦争は二度としてはいけないのだ。」と改めて思いました。

最初資料を見たとき、何を表しているのかよくわからなかったけどお話を聞いてたくさん気付きがありました。例えば原爆を投下する都市の候補に京都が上がっていたけど、日本の古い文化を残すために投下をやめたのだと知って、アメリカが日本の気持ちを考えてくれたのだと思いました。

受講して、一番心に残ったのは、池田義三さんのお話です。被爆者について泣きながら話されていたのを観て、戦争・原爆のおそろしさがわかったし、実際に広島平和公園や原爆資料館に行き、戦争について深く考えることも大切だと思えました。これから、戦争について、昔のことではなく、自分にも関わることだと意識していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/3

私は、戦争、原爆や日本の歴史について、社会の時間以外では学ばれていませんでした。でも今日、原爆先生に来ていただいたので、広島に原爆についてくわしく知ることができました。私は、原爆先生のお話を聞く前までは、広島に原子爆弾が投下された日しか知りませんでした。

原爆先生の話を聞き、じっさいにおきた事をすべて話していただき、とても原爆のおそろしさ分かりました。原子爆弾は、ふつうの爆弾と同じだと思っていました。けれどもふつうの爆弾よりもはるかにおそろしい物だと思いました。原子爆弾が爆発した時の中心のおん度は100万℃、まわりのおん度は、7000℃。太陽のおん度が6000℃だと聞き、原子爆弾のほうが太陽よりも1000℃高いと言う事にすごくびっくりしました。また、原爆ドームの名前を初めて知りました。原子爆弾投下都市の条件が3つあり、どれもとてもまじしい条件でした。また広島に投下された、原子爆弾の名前が「リトルボーイ少年、小さな子」という意味を境している。もしこの原子爆弾「リトルボーイ」の名前のおそろしい原子爆弾だといったらこれ以上の被害におそわれるかもしれないと思うと、多くの人の命がうなわれるかもしれないとこわいです。私はこれから、戦争、原爆などのおそろしさを考えた上で、授業してほしいかなと思いました。また、これからこの事とどのように生きていければいいかなと、言うことを良く考えていけたら良いかなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は、原爆先生の特別授業をしていただきありがとうございます。原爆のこつについては、国語社会でやりましたが、詳しくは知りませんでした。今回の授業では原爆の非人惨さ、と原爆先生のお父さんがしていたことを学びました。原爆の非人惨さでは爆心地では、太陽が近すぎてきたようなもので、太陽に人間が近づくといふから残らないと聞いたことがあるから、これだけからも原爆の非人惨さが伝わってきました。また原爆先生のお父さんが体験したことは心が痛むものです。今回の授業で生かしていきたいことは、原爆の非人惨さはたまたまの人の命をうばい、デメリットではないということをお伝えしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の話を聞いてバクに変わったことがあります。それは原爆のビデオです。そのシーンは何もなにも楽しい日常が一つの原子爆弾によって、多くの命がうばわれた所です。そこでぼくは、その場に行った人などのような気持ちだったのが疑問に思いました。またその原爆のおそろしさが改めて話を聞いて分かりました。またこれから原爆について、楽しい気持ちで受けなさい、しんやかな気持ちで受けなければいけないと思いました。また、原爆の温度について7000℃もあって太陽よりも、熱いという所がとてむざくりしました。しゅげきは、音速よりも速いという事にむざくりしました。また、これからはこのような話を聞いて、次も原爆についてべんきがある時に、このことを生かしていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、原爆がもたらす被害はこの世の物とは思えないほどであったことを改めて思いました。今日、特別授業を受けて、原子爆弾のような物をつくり、そして、戦争は二度としてはいけないと心に強くひびきました。また、今日授業を受けてはじめてしたことがありました。それは、太陽の表面温度よりも、爆発したときの表面の温度のほうが熱か、たという事です。昔に、このようなものを作ることができたのだとは思いました。ですが、このあつさで体の水分がすべてなくなり、死ぬという事はとてもひさんだと思いました。そして、だんだんと実際に原爆を体験した人が少なくなっていくからです。原爆資料館など、体験した人たちの話しなどを聞いて未来にこれを伝え、これをどう未来でどれだけ生かされるかが大切だと思えます。このことから、今僕にできることは、戦争の話しを聞いたり、資料館などに行き、また「戦争一色」にさせてはいけないと未来に伝えるべきだと授業を受けて感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日原火暴先生の授業を受けて、
 原火暴は、どれだけおそろしいのかが分かりました。ぼくは、3つ思った事がありました。1つ目は戦争に對してです。戦争に對していろいろな人々に戦争の恐ろしさを伝えていきたいです。2つ目は、原火暴の事をどう考えるかです。授業を受けて原火暴を落とされるとどうなるのかあまり分かっていませんでした。ただ、受けて被火暴者がどのくらい、死者がどのくらい、重く受けとめる事ができました。3つ目は、この授業をどう生かしていくのかです。授業を受けてそのままでは、意味がありません。しょうらい自分が大人になって原火暴や、戦争の事を考えられる立場になっていきたいと已々めて、思いました。これからは中学に行き戦争の授業を受けたらまじめに受け

たいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は原爆先生の授業を受けて原爆の悲惨さを改めて感じた。今までにも原爆のことは勉強していたが原爆が落とされた場所や日付ぐらいしか知らなかった。たのて熱線や衝撃波、放射線などの原爆のいかについて衝撃を受けた。特に熱線の中心温度は100万℃にもなりまありも7000℃あることは初めて知った。しかも太陽の温度が6000℃で鉄が溶ける温度が1500℃ぐらいだから今までは考えられないような温度なのでとても驚いた。また、放射線によって今でも後遺症で苦しんでいる人がいるということは2011年3月11日に起きた東日本大震災の福島原発事故の放射線のことともつながるので自分たちも考えなくてはならない問題だということを感じた。このような原爆の悲惨を知っていかないとまた、戦争になる可能性もあるからそのことを分かった上で原爆について学びたい。そして大人になつたときに戦争がまた起らないように多くの人に伝えていって忘れないようにしたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今日の授業を受けて思ったことは人の命の大切さを改めて感じました。人を助けようと思っても、ひぶかにはかれ落ちて助けられないことは私にとっては悲しく感じました。また、太陽よりも熱い7000℃の球体がスカイツリーの高さぐらいまで来て人間たちがすぐに亡くなってしまい、大変だったと分かり、私にとっては考えられなくなりました。自分は今、原子爆弾などは何もなく平和に過ごしているので命の大切さをこれからの生活でひびひ大事にすることを生かしていきたいです。また、私が大人になったら、子どもたちに命の大切さを学ぶ授業をやって子どもたちが命の事を感じてほしいです。原子爆弾のことは、ずっと忘れてはいけないと思いました。